

# 日本の平和と繁栄を考える科学の会 10.16 東京シンポジウム 2016

## 結論

1万4千年前の縄文文明の時代から、独創の科学技術が次々に誕生する海洋国日本。それを支えているのは、2670年以上前から継続する天皇陛下を中心とした国家の和の心、国民の勤勉と質素な生活様式、そして国家を守り続ける強い組織と意識です。今回、10.16 東京シンポジウム 2016 を開催し、平和と防衛、アジアの海・沖縄県と日本を主題に、日本の平和と繁栄のあり方を討議し、次の結論に至りました。

- 1 科学技術のトップランナーで、世界に貢献  
自由な発想と競争
- 2 正しい歴史・科学知識を学ぶ姿勢と普及する教育  
非科学・偏向する報道への批判
- 3 規律ある安全な社会維持のための道徳の確立  
和の精神と質素な生活様式・勤勉の価値の再認識
- 4 国を守る基本 自主憲法と法整備

### 補足

- ・マッカーサー占領憲法からの脱却と国防の自立
- ・国内政治や行政に巣くう敵国勢力の木馬やシロアリの取り締まりと二重国籍者の駆除
- ・共産独裁国家・外国人による土地取得制限
- ・日本民族の正しい歴史認識と誇りの再認識
- ・平和勢力との国際的連携

会場 東京都文京シビックセンター・スカイホール

開催日 平成 28 年 10 月 16 日(2016 年)

基調報告 高田純 札幌医科大学教授

報告 大塚正征 元陸将補

### パネリスト

松山昭彦 保守の会会長、仲村覚 沖縄対策本部、岡野 俊昭 元銚子市長

上藺益男 日本シルクロード科学倶楽部、中曾千鶴子 日本シルクロード科学倶楽部副会長、

八木康洋 在日特権を許さない市民の会会長

### 白石念舟先生記念企画

主催 放射線防護情報センター

共催 シルクロード科学プロジェクト

協賛 保守の会、沖縄対策本部

以上